



質 問

危険地域に津波避難塔を

答 弁 建設の方向で



岩崎 将好 議員

質問 東南海・南海地震の際に我が町でも浜ノ瀬、田井畑、三尾には津波が到達する危険がある。高齢者には高台へ走って逃げるといふのが困難な方も居られる。津波避難塔の効果は、単に避難する場所が近くなるということだけではない。



▲三重県志摩市

例えば、浜ノ瀬地区を例に挙げると、揺れがおさまったら、住民は新浜ロータリー、松原小学校を目標に避難をはじめ。

その際、仮に地区の西側に住んでいる方がストープを消し忘れて慌てて避難し、それが原因で、もし火災が発生したとすると、民家の密集した浜ノ瀬では、類焼が類焼を呼び、火災の被害は非常に甚大なものになる。そればかりか、その火の手が東のほうの住民の避難路を絶つことにもなる。これを防ぐためには、是非とも地区内に津波避難塔が必要である。近くに避難塔があれば、

落ち着いて行動が出来るので、火の始末にも注意を注ぐことが出来る。
是非、津波被害が予想される各地区に避難塔を作っていたきたい。
特に、このような人命に関わる事業に関しては県費、国費の補助がなく、町の単独事業となつたとしてもやるんだというぐらいの気概で進めていってほしい。
我が町でも海岸部の住民を思えば、そのくらいの決意が必要ではないか。



▲徳島県日和佐町

町長 非常に大事だと、私も思っている。
東南海・南海地震の話が出ているので、出来るだけ早い機会に、そういった手立てをしていかなければならないと考えている。
規模とか、事業費を、まだ詳しく研究していないが、今後そういったことを研究して、出来ればやっていく方向で考えたい。